



『大洗町内の原子力事業所①』

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（通称JAEA） 大洗研究所



大洗研究所は、大洗町の南側に位置する国内有数の原子力研究開発拠点です。高温工学試験研究炉「**HTTR**」や、高速実験炉「**常陽**」、現在は廃止に向けた作業を進めている材料試験炉「**JMTR**」など、3つの原子炉があります。

事業所の研究内容

- ・「HTTR」を活用した熱利用技術の研究開発
原子炉を動かすことで生じる高温の熱（約950℃）を利用し、水素を製造する研究を進めています。
水素は新たなエネルギーとして、様々な分野で活用が期待されます。
- ・「常陽」を活用したがん治療薬原料の製造
原子炉を動かすことで、がん細胞のみを攻撃できる世界的にも貴重な放射線を出す医薬品原料の製造技術の開発を進めています。
- ・「JMTR」の廃止措置を通じた技術開発
施設や設備の解体、材料の処理・処分の方法の検討を進めています。



新しい原子炉の研究開発や福島第一原発の廃炉に向けた研究などの原子力分野特有の研究はもとより、水素製造やがん治療薬の製造のための研究など、幅広い研究を行っているぞ！